

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 ドリエジヨ ゆめさとグループホーム
(ユニット名)	しゃくなげ
所在地 (県・市町村名)	滋賀県蒲生郡日野町西大路字井上434-2
記入者名 (管理者)	富田 さつき
記入日	平成 20年 7月 5日

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域性や個々それぞれの生活を重要に考えた理念がつくりあげている。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニット毎の会議・リーダー会・経営会等の開催により、全体としての方向性等、理念に基づき取り組めるように努力している。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入所時の家族様への説明、運営推進会議を通じ地域での研修会等に参加・協力することにより、よりグループホームについての理解を深めて頂けるよう努力している。	○	継続し、グループホームについての理解を深めて頂けるよう取り組んでいく。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々と出会うと気軽に挨拶し合える関係であるが訪問しに來られたりすりは少ない。	○	近隣の方々と気軽に交流をもてるような場づくりを考えていきたい。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議を通じ、町内での行事等の情報を聞き、積極的に参加している。また、地域の小学校とも交流があり学校行事にも参加させて頂いている。	○	継続し、地域の一員として認知症を理解して頂いた上で交流を深めていけるよう取り組んでいく。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の老人会での勉強会に参加し、お話をさせて頂いているなかで、少しでも役に立てればと考えている。	○	今後も、地域の高齢者の方々に気軽に相談に来ていただけるような体制を整える。
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、各自担当を決め行っている。そのなかで各自の課題、事業所としての課題も明確になっており、改善点に対し取り組みを行っている。	○	今後も課題・改善点に対し取り組んでいく。
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議により、現在の状況を報告する中で意見等聞き、改善方法等話し合っている。	○	今後も運営推進会議をいかし、地域の方々の意見・思いを取り入れながら地域との関わりを深め、サービスの向上へと繋げていきたい。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的にグループホームの入居者様の現状についての報告を行っている。また、入居申し込み等についての相談を行っている。	○	よりグループホームの現状を理解・把握して頂けるよう細かな報告、相談を行い今後のサービス向上に繋げていきたい。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会といった形では行っていないがそれぞれ担当する者で必要に応じ勉強を行っている。	○	個々が得た知識に対し、他の者と共有できるように取り組んでいく。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の業務の中で入居者様の様子を注意しながら確認を行っている。また、スタッフの精神状況にも気を配り、個別に話をする機会をもつようし虐待防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明を行っている。また、家族様・入居者様の不安や疑問に対し、対応するスタッフを配置している。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットの責任者が受付し、ユニット会議・リーダー会議・経営会議等へと対応する内容により取り組める場を設けている。	○	今後も家族様からの意見に敏感に反応し、苦情が発生すれば速やかに対応できるように取り組んでいく。
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度入居者様の状況を家族様に報告している。また、必要に応じ個々に連絡を取り、状況報告並びに家族様との相談を実施している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各ユニットの責任者が受付し、ユニット会議・リーダー会議・経営会議等へ対応する内容により取り組める場を設けている。	○	家族会を設け、家族同士の集まりの場で意見を出しやすくするような環境をつくる。苦情への対応を話し合い、質の向上を目指す。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各ユニットの責任者が受付し、ユニット会議・リーダー会議・経営会議等へ対応する内容により取り組める場を設けている。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	併設のデイサービス等と協力しつつ、実施している。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、十分に考慮し行っている。また、ユニット間を行き来してもらうことにより、お互いの認識・理解を深めている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修へ参加する機会を設けている。また、日々の業務中でスタッフ個々への指導・相談等対応している。外部から得た情報等も現場もスタッフにもわかりやすいように説明を行っている。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	立場・担当業務に応じ、交流の場への参加を促している。定期的に行われているグループホーム部会に参加し、情報交換を行っている。	○	グループホーム部会を通じ、より良い関係を築き深く交流を持てるように積極的に働きかけていく。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの身体状況を理解した上で業務の提供を行っている。入居者様の状況に応じた体制作りを行い、少しでも負担の軽減が出来るような取り組み、併設のデイサービスを活用している。	○	今後も継続し、職場内での交流の場を持ち、気軽に話せる場を設ける。(社員旅行・忘年会)また、他の事業所とも交流の場を設けていきたい
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの努力・実績が還元されるように多数の者による査定の実施。それを参考に賞与等が発生している。また、正社員への昇進等により向上心をもって働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	各ユニットの責任者・生活相談員が主となり入居者様または、入居者様が困難な場合は家族様からの要望を確認し、各ユニット毎のミーティングで相談・話し合いを行い、希望を反映し実施している。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様の担当窓口を設け、家族様のニーズ・不安や悩みなどに対応している。また他の事業所や医師などの協力を得ての対応を実施している。	○	今後、年に数回の家族会を実施予定。
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様からの相談内容により、対応している。(福祉用具の利用・専門医への受診・他の事業所への転居目的への協力)		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試し期間の実施・短期入所を利用してもらうことにより、グループホームの雰囲気を感じ取って頂けるように取り組んでいる。	○	家族さんとともに本人が安心してサービスを利用して頂けるように支援していきたい。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	関係の理解を高め関われるようまた本人様に合った仕事・レク提供を行えるように業務体制の見直しを行った。	○	関わりを積極的に持つことにより、今後も良い関係を築けるように努力していく。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	月に一度ケア内容の変更時など正確に情報提供を行い互いに相談しながら、改善・対応の見直しを実施している。また、個別のケア内容を部分的に協力して頂けるよう声をかけ、協力を得ている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	在宅時に悩みやストレスを感じておられた部分を理解し、重荷な存在となっていた本人様に愛情を持って接して頂けるようになるよう支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	可能な限り、本人様の希望の確認を行 い、馴染みの方々が訪れやすいような場 を提供している。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	本人様の状況・周りの方との関係を理解した上 でのユニット間移動を行い、本人様にとってより良い 環境で過ごして頂けるよう検討している。また、グ ループ毎のレク・仕事提供を行っている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所へ移られてからも、家族様に本人 様の状況を伺っている。また、必要とされる方 に対しては、積極的に対応している。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時には、本人様または家族様の意向を確認し、日々のケアに取り組むようにしている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、本心様または家族様に生活歴・クラブリの確認を行っている。また、他の事業所から移られるときも細かな情報の確認を行っている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日誌・記録等により把握に努めている。また、必要に応じ、担当医・家族様と連絡を取り対応している。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ間で現状を把握し、担当医・家族様と相談しながら対応している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	スタッフ間で現状を把握し、担当医・家族様と相談しながら対応している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の入居者様の情報を介護・ケース記録・日誌等に記入し情報の共有、介護記録にいかしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設しているデイサービス等と協力しながら柔軟な対応を行っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティアの受け入れ、地域の小学校との交流、消防訓練等協力を得ている	○	今後も継続し、取り組んでいく。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	個々の入居者様の状況に応じ、対応を行っている。	○	今後、他の事業所との関係をより深めていく。
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に入居者様の状況報告を行い、必要に応じ意見を求めている。	○	今後、より良い関係を築けるよう取り組んでいく。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人様及び家族様の意向等を確認、相談をおこない希望に添えるような対応を行っている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の受診が必要な方に対しては家族様と相談し、要望を聞きながら専門医への受診・状況報告を行っている。	○	本人様に安定した生活を送っていただけるように医師との関係を密にしている。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームに看護師を配置、またデイ看護師とも協力・相談し日々の健康管理をおこなっている。	○	医師との連携を看護師も交えて行うことで、より本人様が安心して生活できるように取り組んでいく。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、職員がお見舞いに行き病院関係者や家族様から様子を聞き状況把握・情報交換を行っている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化された場合についての説明を行っている。また、本人様の状況について家族様と話し合う機会を設け、状況・希望を考慮し最善を尽くしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所内で出来ることを見極め、本人様の状況をより家族様の要望を聞き今後の支援の方向性を検討している。また、必要に応じ医師等に連絡し、取り組んでいる。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人様が入居される際、または退去される際は出来る限り情報交換を行い、話し合う機会をもち住み替えによるダメージを軽減できるように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個々の記録・情報については他者の目に付かないところに置くように配慮している。日々の業務の中で声のかけ方・対応等気になる点に関しては話をしている。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	業務体制の見直しを行った結果、以前より入居者様と関わりを持てる時間を作ることができ、そのなかでできる限りの対応を行っている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務体制に改善を行った結果、個別のケアを提供できる幅が増えてきている。また、本人様の希望される仕事提供、本人様に合った仕事(レク等)提供も徐々に出来てきている。	○	今後、継続しケアの充実をはかり、有意義な生活を過ごして頂けるよう取り組む。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望される方に対しては行きつけの美容院を利用させていただいている。服装・化粧品も入居以前より好まれていたものを使用しているため、個々の好みにあった物となっている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様により個人差はあるが、好まれる方に対しては台所に立ち一緒に食事準備を行っている。食に対する執着が強い方・食事自体が理解できない方もおられ、個々の状態にあった提供を行っている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個人差はあるが好まれる物を部分的に提供している。食事制限ある方もあり、難しい部分もあるがその中での楽しみを得て頂けるように心掛けている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し、入居者様の排泄パターン・現在の身体状況・精神状況等を考慮しつつ、本人に最もあった排泄状況・介助方法をミーティングで話し合っている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、本人様の希望に合わせて入浴できるように努力している。身体状況により、入浴日を考慮し、心地よく入浴していただけるよう対応方法等考えている。		一般浴で対応困難な方は、本人様の負担軽減のためにも併設しているデイサービスのチェア入浴使用

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本的には、就寝時間は決めておらず、本人様の好きな時間に寝ていただいている。落ち着いて入眠に入れない方に関しては、医師と相談し、落ち着いていただける状況作りに取り組んでいる。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様の個々の好み・能力に応じた個別のケア(レク等)の提供を行っている。本人様より、希望のない方に関しては、できそうな物を中心に提供を行っている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現状の入居者様の中で、お金を管理することのできる方がほとんどおられない。身体的・精神的・家族様の状況を踏まえ、現状では今のままの継続を行っていききたい。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人様が希望されるときに、希望される場所への外出は難しいが家族様の協力も得ながら、部分的には行っている。		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人様が希望されるときに、希望される場所への外出は難しいが家族様の協力も得ながら、部分的には行っている。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の状態により困難になっている部分もある。また、季節毎に声かけを行っているが、自ら望まれる方は少ない。	○	今後、入居者様の状態により可能な方には提供を行っていく。また、そのほかの方に関しても家族様側からの手紙を頂けるような関係作りを行っていききたい。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様・知人の方等が面会に来られた際は、食堂・居室・居間等思い思いに過ごしていただいている。家族様が定期的に面会に来てくださる方も増えてきている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、スタッフが理解できるように説明の場を設けた。また、外部への研修への参加を行っている。		現在、拘束は行っていないが、言葉掛け等今後も注意していきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には鍵はかけないようにという考えはあるが、現在入居されている方の状況により、鍵をかけざるを得ない状況はある。	○	日中敷地内に、自由に動けるスペースは設けているが、今後も入居者様の状況により対応方法を検討していきたい。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間・ユニット間での声かけを行っている。入居者様の状況により、配慮ができないこともあるが、基本的にはプライバシーの配慮をしつつ日々の状態把握に努めている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の入居者様の状態に応じ対応を行っている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告・ミーティング等で、個々の状態を把握し防止の方法を検討している。交代勤務であり、勉強会の開催が難しい部分もあり、資料等作成し目を通せるようにしている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に一度の部分的な訓練を行っている。(救命士による心肺蘇生法等)又、休日・夜間帯等看護師と連絡を取れる体制を整え、緊急時の支持があおげるようにしている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練(日中・夜間想定)の実施。消防器具の取り扱いについて等行っているが、実際その場になると動揺がみられる可能性はある。	○	現状、具体的な地域の方との連携体制は取れていないため、今後の課題として行きたい。又、定期的に避難訓練を行い、避難動作の再確認を行って行く。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時または訪問時等、家族様と話し合う機会を設け、現状で起こりうるリスクの説明を行い、本人様・家族様の要望・希望に添った形で出来る範囲の対応を考慮・実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常的なバイタル測定・様子観察。日常生活上の様子・排泄状況・入浴時の身体状況の確認・観察を行い記録している。発見時、他のスタッフ・看護師に相談し意見を求めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についてはスタッフが側に付き確実に服用していただけるようにしている。入居者様の服薬内用については、ユニット毎にファイルに閉じ、常時見られるようにしている。	○	今後も服薬内容の把握・変更時の申し送りを十分にし、症状の変化の確認に努める。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニュー等にも気を配り、牛乳・ヨーグルトの提供も定期的に行っている。本人様の状況により、レク・運動・散歩等も取り入れている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時・就寝前に入居者様の状態・やり方に合わせて行っている。口腔内の臭い等の予防の為、入れ歯の洗浄剤を使用し洗浄を行っている。		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の作成したメニューも取り入れている。又、ミーティングにより、個々の入居者さまに合わせた食事・水分量の提供、状態に合わせた食事提供を行っている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルの作成・看護師による感染予防等、他の職種を交え予防に取り組んでいる。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の消毒及び調理代の消毒を行っている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	帰宅願望の強い方もおられ、外部の方の訪問時は基本的にデイサービス側の玄関を利用して頂き、グループ側の玄関は、入居者様がくつろげる空間、自由に出入りして頂けるスペースとして活用している。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、入居者様が作られた作品・季節の花等の塗り絵・貼り絵等を飾り、生活感・季節感が出るように配慮している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル毎に過ごせるようになっている。居間・玄関のソファ等あり思い思いのところで過ごしておられる。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の状況により、本人様・家族様と相談しより本人様が居心地よく、安全に過ごせるように工夫している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入居者様にとっての快適な温度が個々に違うため難しい部分もあるが、こまめに音調整・換気を行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の入居者様の状態に応じ、安全に過ごして頂けるよう努力している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の入居者様の状態に応じ、その方にあつた対応を行っている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物外に、自由に動いて頂けるスペースを設けている。また、食堂より見えるウッドデッキには、花等植えている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
	↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居様が暮らしやすい環境のもと個々に合った生活を実現できるようにスタッフは多様な生活環境作りとして、各分野の担当を設け、本人らしい生活を提供するように考えています。現状のグループホームの入居様が認知度、医療面での重度化が進んできている傾向にあります。重度化させない取り組みを強化するため、スタッフの対応・環境面での質を向上させる必要がありますのでその点を日常より考えています。また、看護師を配置しスタッフで対応できない医療面の充実を図っています。スタッフも医療的な面での知識を看護師よりアドバイスを頂き、戸惑いなく医療面での緊急対応ができるように看護師と24時間連携体制を整えています。入居様に日々、楽しく過ごしていただくため地域とのふれあいを大切になるべく行事等に参加させていただき、また近隣の小学校との子供たちとのふれあいも大切にしています。ありのままの生活、ゆとりある個々にあった生活環境を実現していきたいと思っています。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	6 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	4 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営（ 項目／5項目）について

各ユニット毎のミーティング、リーダー会議、主任会議、経営会等を通じ、事業所全体としての方向性について話す場を持ち、取り組む体制が整ってきている。その中で、以前個々の判断で動いていた部分が減少し、全体的な方向性に向けた動きが取れるようになってきている。今後、家族会の発足に向け取り組みを進め、地域の方・他の事業所との交流をより深め、グループホームについての理解・協力が得られるような体制ができるように取り組んでいく。また、地域の方にも気軽に相談を持ちかけていただけるような体制作りを行っていききたい。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援（ 項目／2項目）について

生活相談員を設け、家族様のニーズ・不安等を聞き、説明・相談の対応を行っている。また、必要に応じ家族様との面談（相談）の場を設けているため、部分的に家族様の協力を得られるような関係づくりはできているように感じる。短期入所サービス・お試し入居等を利用していただくことにより、事前にグループホームの雰囲気等感じてもらい、入居以前より相談の場を設け入居者様・家族様共に安心してサービスの利用をしていただけるように取り組んでいる。今後、家族会を設置予定でありより良い関係を築いていきたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（ 項目／4項目）について

入居者様の個々の状態の応じ、必要な方に関しては専門医の受診を行い、医師より意見をもらうことにより、本人様が落ち着いた生活を送っていただけるように取り組んでいる。また、今後専門医の受診が必要となる可能性のある方に関しても家族様に相談・説明を行っている。医療連携体制を取ることにより、看護師の意見も聞きつつ、今後のケアについてスタッフ・家族様と話し合いを行っている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援（ 項目／7項目）について

業務体制の見直しを行うことにより、入居者様と関わる時間を設けられることができ、個々に合わせた個別のケアを提供できる幅が増えてきている。また、看護師配置により、医療面での対応・緊急時に看護師にアドバイスを頂けるよう24時間体制を取っている。

V サービスの成果に関する項目について

業務体制の見直しにより、入居者様のゆったりと過ごす時間を以前よりも設けることができた。また、個々のケアにも取り組み、それぞれのペースで生活していただける部分も多くなってきているが、まだまだ不十分な部分もあり今後も取り組んでいきたい。家族様の不安・要望等相談をする機会を設けることができ、信頼関係も徐々に深められているように感じられる。業務見直しを行ったことにより、スタッフの負担も以前より軽減できてきている。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 20年 7月 5日

前回評価年月日： 19年 7月 1日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目番号	優先順位	内容				
I-5		スタッフの質・意欲の向上のため、他の事業所との交流・研修への参加の場を設け、より良いケアの提供へと繋げていく。	平成20年8月～	スタッフの個々の能力に応じた研修への参加。ミーティング・リーダー会での知識・情報の共有を積極的に行っていく。		
IV-1 (1)③		個々の入居者様の生活状況・希望等の把握、スタッフ間での情報の共有を行うことにより、日々の生活を有意義に過ごして頂けるようなケア提供を行う。	平成20年8月～	ミーティング等により、入居者様の状況把握をスタッフ間で行い、家族様の意向等を考慮した上で、個別のケアの提供を行う。また、本人様に合ったケアの提供を行えるよう個別のケアについて話し合う。		
III-4 44 4 5		専門医の受診を行い、本人様の状態の安定、安定した生活を送っていただけるように取り組む。	平成20年8月～	必要な方に関し、定期的に専門医に受診・状況報告を行う。受診外でも医師と連絡を取り、関係を密にしていく。		
I-4 ④		家族会を設置し、家族同士の交流の場を持ち、グループホームの現状の理解・協力を得られるような体制作りを行う。	平成21年～	家族会に関する資料を集め、家族様の意見・要望を聞き取り、家族会開催の必要性について検討・実施に向けての計画を立てる。		
II-1 ②						
IV-1 (4)66		入居者様の状態により、やもえず鍵をかけざるをえない時もあるが出来る限り鍵をかけない取り組みを行う	平成20年8月～	入居者様の状況により鍵をかけざるをえない場合もあるが、他の対応方法も検討していく。また、自由に動いていただけるスペースについても再検討を行う。		